



*The Japanese  
Society of  
Toxicology*

**Vol. 48 No. 6  
December 2023**

# 毒性学ニュース

*Toxicology News*

一般社団法人日本毒性学会

The Japanese Society of Toxicology

## 毒性学ニュース Contents

---

### 日本毒性学会からのお知らせ

2024年度の役員改選について	115
公告：理事・監事候補者の選挙について	116
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第6報）	117
第26回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者	119
第51回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）	120
第50回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について	125
2024年度日本毒性学会 特別賞候補者推薦要領	126
2024年度日本毒性学会 学会賞候補者推薦要領	127
2024年度日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）候補者推薦要領	128
2024年度日本毒性学会 学会貢献賞候補者推薦要領	129
2024年度日本毒性学会 奨励賞候補者推薦要領	130

### その他のお知らせ

日本安全性薬理研究会 第15回学術年会のご案内	131
-------------------------	-----

### 毒性学ニュース索引（48巻）

一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

---

## 2024年度の役員改選について

2023年10月17日  
一般社団法人日本毒性学会  
理事長 務台 衛

平素より日本毒性学会の活動へのご参画およびご協力ありがとうございます。

昨年7月に発足した理事会ですが、早いもので既に任期後半に入っています。この11月には選挙管理委員会を立ち上げ、次期の役員（理事および監事）候補の選出に向けた作業を開始いたします。

昨年7月の理事長就任にあたり、取り組むべき課題のひとつとして「評議員および理事・監事の女性比率の向上」を挙げました。この課題について、昨年秋より企画戦略小委員会にて検討いただき、6月に開催した第1回理事会にて次期理事および監事候補を選ぶ役員候補選挙への対応を協議しました。

企画戦略小委員会の調査によると本年3月時点での本学会の会員構成の女性比率は会員で27%、評議員で13%でしたが、女性の役員は1名（5%）に留まっていました。この状況を打開するため、同小委員会から理事会に対し「少なくとも役員の女性比率を評議員のそれを上回るレベルを目指すことが望ましい」と提言を受けました。

総務委員会において過去4回の役員選挙結果を精査したところ、毎回、当落線上に女性理事候補が複数名おられたという事実が確認できました。そこで上記の提言を受けた対策としては、女性枠を設ける等の選挙規程の改定でなく、理事会として性別、年齢を問わず会員、評議員の本学会運営への積極的参加を広く呼び掛けるなかで結果として女性の役員の比率を向上させることは可能であり、そのようなアプローチが健全な開かれた学会運営であるとの結論に達しました。

今後、理事会では11月の選挙告示に向け、次期の役員に相応しい有為な人材の発掘と推薦を進めて参ります。

評議員の皆様にかかれましては、評議員として「理事候補者及び監事候補者を評議員の中から選出し、社員総会に推薦する権限（定款第17条1）」を有することを再認識し、自薦他薦を問わず役員候補選挙への積極的な参画をよろしくお願いいたします。

以上

## 公告：理事・監事候補者の選挙について

2023年10月26日

一般社団法人 日本毒性学会  
社員 各位

一般社団法人 日本毒性学会  
理事長 務台 衛  
総務委員長 小椋 康光

本年度は次期〔任期：2024年7月4日（社員総会）より2026年社員総会開催日〕理事および監事（役員）候補者選挙の年にあたります。本学会の定款、理事・監事選出規程ならびに理事および監事候補の選出に関する細則に従い、下記の通り選挙を実施することをお知らせ致します。

### 記

1. 選挙による役員候補者の選出数は理事16名、監事2名です。
2. 選挙人（選挙権を有する者）は本学会評議員です。
3. 候補者（被選挙資格を有する者）は、以下の方々を除く本学会評議員です。  
被選挙資格を有しない評議員
  - ① 現理事長（選出規程により自動的に理事に選出）
  - ② 理事または監事を連続二期務めている評議員
  - ③ 2024年4月2日の時点で満66歳以上の評議員
4. 選挙（投票）は、郵送方式で以下の期間に実施する予定です。  
2024年1月19日（金）～2024年3月15日（金）  
本会評議員には、2024年1月上旬に投票用紙等と共に「被選挙対象者（候補者）リスト」および「同対象外リスト」を郵送いたします。
5. 開票は選挙期間終了後速やかに行い、役員候補者を選出します。選出された役員候補者は、理事会の承認および2024年7月4日に開催予定の社員総会での承認を経て、役員に就任することになります。
6. 以上の役員選挙に関しては、「理事および監事候補の選出に関する細則」に則り理事長が指名した選挙管理委員が執り行います。

選挙管理委員長           ： 小椋 康光  
選挙管理委員会委員   ： 菅野 純, 古武 弥一郎, 児玉 晃孝, 高橋 祐次, 森 和彦  
開票立会人（監事）    ： 天野 幸紀, 三浦 伸彦

以 上

## 日本毒性学会教育委員会からのお知らせ（第6報）

教育委員会の各種事業は下記の要領で実施する予定です。詳細は決まり次第、学会ホームページおよび毒理学ニュースでお知らせします。

なお、学会主催講習会は、トキシコロジーに関する知識（基礎知識）を幅広く学習する基礎教育講習会とトキシコロジストとしての知識をアップデート・ブラッシュアップする生涯教育講習会として位置付けすることを基本方針として開催いたします。

### 「第27回日本毒性学会基礎教育講習会」

本講習会はトキシコロジストの系統的な基礎教育あるいは再教育を目的としております。また、トキシコロジー全般にわたる理解を深めたうえで、日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験受験にお役立て下さい。講習は動画配信形式で行います。受講者の皆様には4月下旬にダウンロード方法をご案内いたします。

#### 1. 日時

2024年4月下旬～認定トキシコロジスト試験前まで

#### 2. 形式

オンデマンド動画配信

#### 3. 申込

##### 1) 申込期間

2024年2月1日（木）～2024年3月31日（日）

##### 2) 申込方法

当学会ホームページよりお申込下さい。登録後、期限内に次項の要領で受講料を納入下さい。受講料入金の確認後追って受講案内をお送りします。

##### 3) 納入方法

ホームページよりお申込の上、下記銀行口座へお振込み下さい。

銀行：みずほ銀行

支店：麹町支店（021）

口座番号：普通 1348658

口座名義：一般社団法人日本毒性学会

\*振込手数料はご負担ください。

\*ご所属名でお振込みの際は、事務局までメールで受講者氏名（会員の方は会員番号）、所属、振込日、振込金額をご連絡下さい。

#### 4) 受講料

一般会員：25,000円 学生会員：5,000円  
非会員：30,000円 学生非会員：8,000円  
認定トキシコロジスト：20,000円

\*領収書につきましては、参加証と一緒に送付いたします。宛名のご指定がある場合は、申込時に入力下さい。

\*キャンセルに伴う返金に関しては、講習会資料事前案内前に限り、対応します。事務局から案内後は納入済み受講料の返金は原則としていたしませんのでご了承下さい。

#### 5) その他

\*受講修了者には受講証明書を発行します。

### 「第25回日本毒性学会生涯教育講習会」

本講習会では、学習フレームを、①トピック、②トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーとして実施しております。本年も同様のフレームで開催を予定しておりますので、是非、積極的なご参加をお待ちしております。

トピックスは、SOTの学術年会時に開催される教育コースから、2つのテーマを選び、新しい科学及び技術に関する最新のトピックスを学習する場としていきます。トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナーでは、各種毒性反応について基礎メカニズムから社会的に最新の毒性学の話題を含め深く学習する場としていきます。また、学習テーマに関連する共通知識として「非病理学者のための病理学講義」をセミナーに組み入れていきます。講習会資料はダウンロード形式としております。

#### 1. 日時（オンデマンド動画公開期間）

2024年7月5日（金）～8月4日（日）

## 2. 形式

オンデマンド動画配信

## 3. プログラム (仮)

- 1) トピックス SOT2024 CE コースから:2題。演題・演者選定中
- 2) トキシコロジスト・ブラッシュアップセミナー: “AIやビックデータを活用した新たな毒性予測”

### 講師

- ・武田 一貴 先生 (北里大学)
- ・庄野 文章 先生 (奈良先端科学技術大学院大学) \*
- ・山西 芳裕 先生 (名古屋大学)
- ・松本 泉美 先生 (住友ファーマ株式会社)

\*講師変更の可能性あり

## 4. 参加費

会 員	5,000 円
非会員	7,000 円
認定トキシコロジスト	3,000 円

## 「第 27 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験」

我が国の安全性試験の信頼性向上とトキシコロジーの進歩に寄与するため、質の高い専門家を認定するための試験です。受験資格の詳細については、毒性学ニュース及び学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定制度規程』をご覧ください。日本語・英語いずれかの受験になります。英語受験を希望する場合は、願書の英語受験希望欄にチェックを入れてください。

### 1. スケジュール

2024 年 11 月予定

### 2. 会 場 (予定)

昭和大学 旗の台キャンパス

### 3. 受験料

30,000 円

## 「2024 年度認定トキシコロジスト資格の更新」

2004 年, 2009 年, 2014 年, 2019 年に認定トキシコロジストに認定された方となります。

詳細は 2024 年 4 月頃にメールをお送りいたしますのでご確認ください。

毒性学ニュース, 学会ホームページの『一般社団法人日本毒性学会認定トキシコロジストの認定資格更新に関する細則』をご覧ください。

## 「2024 年度認定トキシコロジスト試験問題作成依頼について」

資格更新のための試験問題作成の依頼は 2024 年 6 月上旬, 締め切りは 8 月中旬を予定しています。

なお, 可能な限り, 2018 年 3 月発刊の「第 3 版トキシコロジー」からの出題をお願いいたします。

その他, 詳細につきましては, 2024 年 6 月にご案内いたします。

## 第26回日本毒性学会認定トキシコロジスト 新規認定者

第26回認定トキシコロジスト認定試験が2023年11月5日に昭和大学 旗の台キャンパスにて行われました。その結果、以下の25名が所定の書類審査に合格し、200問の試験において140点以上を得点され、新たに認定トキシコロジストと認められました。

おめでとうございます。

なお、受験者の総数は55名でした。

井垣 茂	久米 駿介	田辺 愛子
石塚 文也	小山 憲司	田邊思帆里
飯代 智之	近藤 聡志	知識嘉奈子
大竹 利幸	佐伯 雄輔	寺坂 慎平
片木 淳	島寄 大志	長屋 一輝
河原 遼	白石絵里奈	波多野浩太
木ノ本寿子	千秋 政徳	人見 将也
久保田祐介	高橋 宏和	
隈部 志野	田島 剛	

(五十音順 敬称略)

2023年11月20日

一般社団法人日本毒性学会

理事長 務台 衛

教育委員会委員長 高橋 祐次

認定試験小委員会委員長 福島 民雄

## 第51回日本毒性学会学術年会のご案内（第3報）

（年会ホームページ：<https://www.jsot2024.jp/>）

### 1. 会期

2024年7月3日（水）～5日（金）

### 2. 会場

福岡国際会議場

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

TEL：092-262-4111

URL：<https://www.marinemesse.or.jp/congress/>

### 3. テーマ

A new decade for JSOT

Fusion of Other Science Fields and Strengthening of  
Industry-Government-Academia Collaboration

### 4. 年会長

上原 孝

（岡山大学学術研究院医歯薬学域 薬効解析学）

### 5. 企画委員（敬称略・五十音順）

朝倉 省二（エーザイ（株））

安西 尚彦（千葉大学）

市原 学（東京理科大学）

伊藤 昭博（東京薬科大学）

内田 浩二（東京大学）

小椋 康光（千葉大学）

諫田 泰成（国立医薬品食品衛生研究所）

菅野 純（国立医薬品食品衛生研究所）

北嶋 聡（国立医薬品食品衛生研究所）

鯉淵 典之（群馬大学）

小柳 悟（九州大学）

佐藤 雅彦（愛知学院大学）

座間味義人（岡山大学病院）

渋谷 淳（東京農工大学）

鈴木 睦（協和キリン（株））

種村健太郎（東北大学）

津田 誠（九州大学）

奈良岡 準（アステラス製薬（株））

広瀬 明彦（（一財）化学物質評価研究機構）

黄 基旭（東北医科薬科大学）

藤村 成剛（国立水俣病総合研究センター）

松沢 厚（東北大学）

三隅 将吾（熊本大学）

宮脇 出（住友ファーマ（株））

森 和彦（第一三共（株））

山田 健一（九州大学）

吉岡 靖雄（大阪大学）

鰐淵 英機（大阪公立大学）

### 女性・若手企画委員（敬称略・五十音順）

安孫子ユミ（長崎大学）

有澤 琴子（東北大学）

岩井 美幸（国立環境研究所）

鷗木 隆光（国立水俣病総合研究センター）

大黒 亜美（広島大学）

加藤 百合（九州大学）

久保田 翔（岡山大学）

齋藤 文代（岡山理科大学）

田口 恵子（東京大学）

武田 一貴（北里大学）

武田 知起（日本バイオアッセイ研究センター）

服部奈緒子（星薬科大学）

濱野 裕章（岡山大学病院）

藤代 瞳（徳島文理大学）

宮崎 育子（岡山大学）

横田 理（国立医薬品食品衛生研究所）

### 6. 特別企画（予定、仮題、敬称略、順不同）

#### 1) 第21回市民公開セミナー

テーマ：痒みと毒性（疾患リスク）

日時：2024年7月6日（土）10：00～12：00

会場：九州大学医学部 百年講堂

##### (1) 「皮膚疾患に伴う痒みの現状と新しい治療」

中原 剛士（九州大学大学院医学研究院 皮膚科学分野）

##### (2) 「痒みを感じる仕組み」

津田 誠（九州大学大学院薬学研究院 薬理学分野）

#### 2) プレナリーレクチャー

「“Dark” Pathways of Protein Transnitrosylation  
Injure Synapses in Alzheimer’s Disease--  
Mechanism and Potential Treatment」

Stuart A. Lipton（The Scripps Research Institute）



3) 特別講演

- ・「レドックス科学から付加体科学へ」  
内田 浩二 (東京大学)
- ・「生理活性物質の作用機序を探る」  
吉田 稔 (理化学研究所)
- ・「酸化ストレス応答の分子基盤と病態」  
山本 雅之 (東北大学)
- ・「有害事象を低減させるデータサイエンス」  
金子 周司 (京都大学)
- ・堀井 郁夫 (Pfizer)

4) シンポジウム

- ・形に紐付けられる生体情報解析技術
- ・産業薬剤師の可能性
- ・医薬品毒性機序研究部会シンポジウム：毒性発現機序 (AOP) の理解とその毒性評価への応用
- ・個人差を反映した医薬品評価の現状と今後の展望
- ・がん化学療法剤による末梢神経障害：メカニズムと予防・治療
- ・Microphysiological systems の行政・産業への受入れの現状と課題
- ・毒性研究者による PDE/OEL 算出—医薬品の品質管理と労働者の安全性担保のために—
- ・環境要因によるエピジェネティック制御
- ・子供の毒性学：高次脳機能の周産期化学物質曝露による修飾のメカニズムに関する研究成果と、ヒトの子供で報告される高次脳機能変化との生物学的関連性
- ・オルガネラ毒性と代謝疾患
- ・【KSOT-JSOT 合同シンポジウム】
- ・多様な酸化・毒物ストレスに対する新たな生体応答システム
- ・毒性学におけるメタロミックスの最先端 —産官学連携による新展開—
- ・先進的 in vitro model を用いた初期毒性評価戦略
- ・【日本毒性病理学会合同シンポジウム】日本毒性病理学会からのトピック：薬物誘発病変の回復性
- ・医薬品の環境リスク評価の現状と将来展望
- ・核酸医薬品開発における安全性評価の課題と取り組み
- ・新薬開発における薬剤性痙攣の評価 —非臨床における痙攣リスク評価の強化—
- ・生体金属部会シンポジウム：～金属による免疫毒性～
- ・鳥の鉛中毒：国内で「今」起きている健康被害

- ・データサイエンスが拓く薬物毒性学の新たな未来
- ・【日本免疫毒性学会合同シンポジウム】免疫毒性学から見たワクチン学
- ・日韓合同シンポジウム：レドックスシグナルと臓器／組織毒性
- ・体内時計の変調がもたらす健康障害と疾患：メカニズムの理解と予防策の構築に向けて
- ・最新の実験動物の薬物代謝酵素知見からヒト酵素特徴の再確認へ
- ・腸管毒性を考える
- ・付加体科学部会シンポジウム：Unity in diversity: 付加体がつなぐ毒性学
- ・短寿命活性種の毒性と機能性
- ・次世代研究セミナー
- ・【日本中毒学会合同シンポジウム】トキシドロームと分子毒性学的新知見
- ・【日本生理学会共催シンポジウム】
- ・【日本内分泌攪乱物質学会合同シンポジウム】
- ・【SOT-JSOT 合同シンポジウム】

5) ワークショップ

- ・各種の AI の組み合わせによる毒性オミックスの効率化
- ・臨床検査から正しい情報を得るためには？
- ・安全性評価技術の今昔物語：故きを温ねて新しきを知る
- ・ヒト試料を用いた医薬品の安全性評価の最前線～臨床副作用の予測性向上を目指して～
- ・ニューモダリティ医薬品にユニークな新たな開発戦略
- ・DX 時代の毒性病理 —AI 病理システムと病理ビッグデータへの取組みにおける課題と展望—
- ・トキシコロジストのキャリア形成支援プログラム

7. 一般演題募集

- 1) 一般演題 (口演およびポスターでの発表) を 2024 年 1 月 24 日 (水) から受け付ける予定です。主発表者 (プレゼンター) は本学会会員に限定しますので非会員の方は、日本毒性学会事務局にて入会の手続きをお願いします。  
日本毒性学会ホームページ：<https://www.jsot.jp>  
なお、ポスターとスライド作成は、原則英語となります。(口頭発表及び討論は日本語で構いません。英語による発表・議論も可です)
- 2) 演題登録はインターネットを利用したオンライン

ン登録のみです。下記8に記載する「演題登録要領」を参照の上、年会ホームページから登録して下さい。

演題申込開始日：

2024年1月24日(水)(予定)

演題申込締切日：

2024年3月1日(金)(予定)

- 3) 一般演題は口演またはポスター発表とします。口演発表につきましては、発表と討論の時間を合わせて10～15分程度を予定しています。詳細は、演題申込数を考慮の上、決まり次第発表者へE-mailにてお知らせいたしますので、ホームページなどで随時ご確認下さい。発表方法は液晶プロジェクターのみです。ポスター発表は、毎日貼替えてポスター展示を行い、途中で質疑応答時間を設けます。
- 4) 優秀研究発表賞応募演題  
2024年3月31日時点で35歳以下の方を対象として候補者を募集します。  
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。応募者はポスター発表に加え、別会場で口頭発表と質疑応答を第1日目(7月3日(水))に行っていただきます。受賞者の発表は、第3日目(7月5日(金))に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。
- 5) 学生ポスター発表賞応募演題  
学術年会(2024年7月3日(水))の時点で学生(大学院生を含む、ただし社会人大学院生は除く)のポスター発表(筆頭著者)の方を対象とします。  
応募者は演題申込時にその旨登録して下さい。審査はポスター発表内容のみで行います。対象のポスターは第1日目(7月3日(水))に掲示し、受賞者の発表は、第3日目(7月5日(金))に行います。授賞式等詳細は、年会ホームページにて追ってご案内いたします。受賞者には、賞状と副賞を授与します。

※上記、4)、5)の賞への重複申請は不可とします。

## 8. 演題登録要領

演題登録はインターネットを利用したオンライン登録のみです。締め切り間際はアクセス集中によりサーバー処理能力が極端に低下します。そのため、登録に時間を要する、あるいは登録が完了できないといった事態が生じることが予測されますので、演題募集要領と年会ホームページを熟読した上で、余裕をもって登録して下さい。

### ◆登録方法ならびに登録確認・訂正◆

年会ホームページにアクセスし、演題募集のメニューより案内に従って、次の流れのように登録を進めて下さい。なお、演題登録は発表者本人が行って下さい。  
発表者個人情報登録→一般演題登録→共著者・演題情報登録→登録内容確認→登録完了

#### 1) 発表者個人情報登録

発表者は本学会会員に限ります。登録には会員番号(5桁)が必要です。

パスワード(半角英数)は登録内容の確認や変更を行うときに使用します。4文字以上10文字以内で入力して下さい。なお、パスワードはメニューページの「パスワードを変更する」より変更することが可能です。入力したパスワードは各自で大切に記録・保管して下さい。

#### 2) 共著者・演題情報登録

##### 2-1) 共著者情報登録

共著者の氏名・所属を入力して下さい。

共著者数は最大20名、所属機関名は最大15施設まで登録可能です。

##### 2-2) 演題カテゴリー登録

詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

##### 2-3) 発表形式

発表形式を「口演」、「ポスター」、「どちらでも可」の中から選択して下さい。優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞に応募する場合は「ポスター」を選択して下さい。

優秀研究発表賞もしくは学生ポスター発表賞への応募の有無を選択して下さい。

##### 2-4) 演題名

文字数について、登録ページの入力欄には、文字数制限がありません。下記を目処にお

願います。

日本語演題名 文字数：  
最大全角 80 文字（スペース含め）

英語演題名 文字数：  
最大半角 200 文字（スペース含め）

なお、演題名に特殊文字／上付き／下付き／ボールド／イタリックなどの文字を含む場合には、下記ページの HTML タグを使用し、入力して下さい。

ただし、この HTML タグは、上記文字数にはカウントしません。

〈タグ一覧 / 特殊文字一覧 / よく使用する特殊文字ページ〉  
[http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag\\_list.html](http://www.senkyo.co.jp/tag/ja/tag_list.html)

2 - 5) 要旨作成要領

日本語及び英語の要旨のご提出をお願いしております。本文の文字数は、日本語：全角として 800 字以内、英語：半角として 600 字以内（スペース含む）です。上記文字数を超えると登録できませんので、ご注意ください。本文中に演題名・所属・氏名・図表等を入れないで下さい。

3) 登録内容確認・訂正

登録の最後に登録情報の確認画面が表示されますので、内容を確認・訂正して下さい。後日改めて確認・訂正を行う場合は、登録時に入力したパスワードを用いて確認・訂正画面を表示させることができます。

4) 登録完了

登録が完了すると演題登録番号が表示されます。登録したメールアドレス宛てに演題登録完了メールが送信されますので確認して下さい。翌日まで経過してもメールが届かない場合は事務局までご連絡下さい。

9. 参加登録および参加費

事前参加申込開始日：  
2024 年 1 月 24 日（水）（予定）  
事前参加申込締切日：  
2024 年 5 月 10 日（金）（予定）

1) 参加費

※学会会員の参加費は「不課税」、関連学会会員、非会員の参加費と懇親会費は「課税（消費税込）」となります。

カテゴリー	事前参加登録	当日参加登録
会員	13,000 円	15,000 円
学生会員	3,000 円	3,000 円
関連学会会員 <sup>*1</sup>	13,000 円	15,000 円
非会員	17,000 円	20,000 円
懇親会費（一般）	12,000 円	15,000 円
懇親会費（学生）	4,000 円	5,000 円

<sup>\*1</sup> 次の学会会員の方を予定しています。（50 音順）

共催：日本中毒学会  
日本毒性病理学会  
日本免疫毒性学会  
日本薬理学会  
米国 SOT（Society of Toxicology）

協賛：日本安全性試験受託研究機関協議会  
日本安全性薬理研究会  
日本医薬品情報学会  
日本衛生学会  
日本環境毒性学会  
日本環境変異原ゲノム学会  
日本産業衛生学会  
日本実験動物学会  
日本獣医学会  
日本食品衛生学会  
日本食品化学学会  
日本生理学会  
日本先天異常学会  
日本動物学会  
日本動物実験代替法学会  
日本内分泌攪乱物質学会（環境ホルモン学会）  
日本発生生物学会  
日本薬学会  
日本薬物動態学会  
比較眼科学会

## 2) お支払い方法

・クレジットカード

※決済等の詳細については、年会ホームページにて追ってご案内いたします。

## 10. 懇親会

次の通り懇親会を開催いたしますので、是非ご参加下さい。

日時：2024年7月4日（木）18：30～

場所：ホテルオークラ福岡

URL：<https://www.fuk.hotelokura.co.jp/>

## 11. 展示、ランチョンセミナーなどの募集

展示、ランチョンセミナー、広告掲載を募集します。詳細については年会ホームページをご覧ください。

## 12. 年会事務局

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

グリーンファルマ研究所 401

九州大学大学院薬学研究院 生理学分野

事務局長：西田 基宏

E-mail: [secretariat@jsot2024.jp](mailto:secretariat@jsot2024.jp)

## 第50回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について

第50回日本毒性学会学術年会の要旨集を3,500円（税・送料込）で販売します。ご希望の方は郵便局に備付けの郵便振替用紙に必要事項をご記入の上、下記口座までお振り込み下さい。ご納入確認後、要旨集を発送致します。

なお、学術年会（第32回以降）の要旨はオンライン（J-STAGE）でも閲覧が可能です。

振込先：口座番号	00150-9-426831
加入者名	一般社団法人日本毒性学会
要旨集価格	3,500円

通信欄記入事項：①住所 ②氏名（団体の場合は機関名・部署等） ③電話番号  
④第50回学術年会要旨集希望の旨

※通信欄のご記入住所へ送付いたします。詳細なご記入をお願いいたします。

問い合わせ先：一般社団法人 日本毒性学会  
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1  
パレスサイドビル  
（株）毎日学術フォーラム  
TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555  
E-mail：jsotq@jsot.jp

## 2024年度日本毒性学会 特別賞 候補者推薦要領

社会における毒性学の認知度の向上, 発展, 充実に大きく貢献した非会員の研究者に日本毒性学会特別賞を授与する。

**候補者の資格**：日本毒性学会非学会員。

**推薦者の資格**：日本毒性学会理事。

**表彰**：授賞者数は毎年, 最大1名とし, 賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

**受賞講演**：受賞者（或いは代理人）は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

**候補者の推薦**：理事1名の推薦を必要とする。推薦者は, 受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し, 日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名, 授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000 字以内）
- ・特別賞の対象となる業績目録：原著論文, 総説・著書, 主催, 発表等

**推薦書類の送付先**：jsothq@jsot.jp  
（日本毒性学会事務局）

**推薦締切**：2023年12月31日（日）

## 2024年度日本毒性学会 学会賞 候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会学会賞を授与する。

**候補者の資格：**現に10年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の4月1日に満65歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

**推薦者の資格：**日本毒性学会評議員。

**表彰：**授賞者数は毎年1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

**受賞講演：**受賞者は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

**候補者の推薦：**評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Wordファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/index.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2,000字以内）
- ・学会賞の対象となる業績目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. または Fundam. Toxicol. Sci. に掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去5年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

**推薦書類の送付先：**jsotq@jsot.jp  
（日本毒性学会事務局）

**推薦締切：**2023年12月31日（日）



## 2024年度日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞） 候補者推薦要領

毒性学に関連する顕著な研究業績をあげ、かつ日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に日本毒性学会佐藤哲男賞（国際貢献賞）を授与する。

**候補者の資格：**現に10年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けているものは対象とならない。

**推薦者の資格：**日本毒性学会評議員1名。

**表彰：**授賞者数は毎年、最大1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

**受賞講演：**受賞者（或いは代理人）は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

**候補者の推薦：**推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名、授賞タイトルを所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（1,000字以内）
- ・佐藤哲男賞（国際貢献賞）の対象となる業績目録：原著論文、総説・著書、主催、発表等

**推薦書類の送付先：**jsotq@jsot.jp  
（日本毒性学会事務局）

**推薦締切：**2023年12月31日（日）



## 2024年度日本毒性学会 学会貢献賞 候補者推薦要領

本会における学会活動の貢献に敬意を表し、日本毒性学会の発展充実に大きく貢献した本会会員に授与する。

**候補者の資格**：現に20年以上継続して日本毒性学会の会員であるもの。

**推薦者の資格**：日本毒性学会評議員。

**表彰**：授賞者数は毎年1名とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

**候補者の推薦**：評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴、本会における委員等の職歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2,000字以内）
- ・学会貢献賞の対象となる業績目録：学会の活動に貢献した具体的な業績

**推薦書類の送付先**：jsothq@jsot.jp  
（日本毒性学会事務局）

**推薦締切**：2023年12月31日（日）

## 2024年度日本毒性学会 奨励賞 候補者推薦要領

毒性学に関する研究において独創的な研究業績をあげつつあり、将来が期待される本会会員に日本毒性学会奨励賞を授与する。

**候補者の資格：**現に3年以上継続して日本毒性学会の会員であり、授賞年度の4月1日に満40歳以下である者。ただし、推薦される研究課題で既に他学会等の賞を受けている者は対象とならない。

**推薦者の資格：**日本毒性学会評議員。

**表彰：**授賞者数は毎年3名以内とし、賞状および副賞を授与する。授賞式は当該年度の日本毒性学会学術年会の総会終了後に行う。

**受賞講演：**受賞者は当該年度の日本毒性学会学術年会にて受賞講演を行う。

**候補者の推薦：**評議員1名の推薦を必要とする。推薦者は、受賞候補者に関する下記事項を所定用紙に記入し、日本毒性学会理事長宛（事務局）に電子メールで提出する。なお、所定用紙（Wordファイル）は日本毒性学会ホームページ（<http://www.jsot.jp/award/encourage.html>）からダウンロードして使用すること。

- ・推薦書（候補者氏名、略歴、会員歴等を所定の用紙に記入したもの）
- ・推薦理由（2000字以内）
- ・奨励賞の対象となる業績の目録：原著論文（J. Toxicol. Sci. または Fundam. Toxicol. Sci. 掲載論文に丸印を付ける）、総説・著書
- ・過去3年間に日本毒性学会学術年会で発表した一般講演演題リスト（共同著者となっている演題を含む）

**推薦書類の送付先：**jsothq@jsot.jp  
（日本毒性学会事務局）

**推薦締切：**2023年12月31日（日）

その他のお知らせ

日本安全性薬理研究会  
第15回学術年会のご案内

詳細は本研究会のホームページ：<https://www.j-sps.org> を  
ご参照下さい。

学術年会長 久保 多恵子 (住友ファーマ株式会社)  
会期 2024年2月22(木), 23日(金, 祝日)  
会場 千里ライフサイエンスセンター  
山村雄一記念ライフホール及びサイエンスホール  
〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
新大阪駅より約15分  
大阪国際空港(伊丹空港)より約15分  
<https://www.senrilc.co.jp/access/japanese.html>

参加申込(事前参加申込のみ)

参加費(早期): 10,000 円(一般), 1,000 円(学生)  
参加費(後期): 15,000 円(口座振込のみ)

参加申込期間(早期)  
2023年11月10日(金)~2024年2月9日(金)  
参加申込期間(後期)  
2024年2月14日(水)~2024年2月20日(火)

一般演題(ポスター発表及びFlash talk) 募集

参加申込期間  
2023年11月10日(金)~2024年12月15日(金)

懇親会

開催日時: 2024年2月22日(木) 18:10~20:40  
会場: 千里ライフサイエンスセンター 千里ルーム  
参加費: 6,000 円(学術年会に参加される方は、参加  
登録と同時に申込が必要です。)

参加申込期間:  
2023年11月10日(金)~2024年2月9日(金)  
講演: 安全性薬理研究の歩み  
安全性薬理研究のこれまでの歴史や研究会発足の経緯、また今後の展望などについての講演を予定しています。学術年会に参加していない方でもご参加いただけますので、安全性薬理研究に興味のある方は是非ご参加ください。

プログラム(案)

テーマ: トランスレーション・リバーストランスレーション

1. 特別講演: リバーストランスレシヨナル研究(嘔吐・消化管不快感)
2. 教育講演: 電気生理学の基礎と臨床(CiPAプロトコルは何故Best practiceなのか、イオンチャネルと麻酔)
3. シンポジウム
  - ・中枢神経系: うつ(医療ビッグデータ, 病態メカニズム)
  - ・循環器系: 比較心電図(心電図, どう使う?), パネルディスカッション
4. ワークショップ: これからの安全性薬理を考える(中枢評価とAI, 代替法)
5. 安全性薬理Q&A
6. ランチョンセミナー
7. 海外招待講演
8. 一般演題(ポスター発表, Flush talk, 優秀研究発表賞)
9. 企業展示(展示ブース, Flush talk)

その他 本研究会の学術年会への参加は、日本毒性学会認定トキシコロジストの受験資格および認定資格更新の評点(5点)になります。

以上

# 毒性学ニュース索引 (48 卷)

## 毒性学ニュース索引 (48 巻)

### 日本毒性学会からのお知らせ

第 50 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 4 報) .....	No. 1	1
第 50 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 5 報) .....	No. 2	17
第 50 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 6 報) .....	No. 3	42
第 51 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 1 報) .....	No. 4	53
第 51 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 2 報) .....	No. 5	100
第 51 回日本毒性学会学術年会のご案内 (第 3 報) .....	No. 6	120
第 50 回日本毒性学会学術年会報告 .....	No. 5	97
第 49 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について .....	No. 1	10 / No. 2 25 / No. 3 47
第 50 回日本毒性学会学術年会要旨集の販売について .....	No. 4	60 / No. 5 99 / No. 6 125
第 26 回日本毒性学会認定トキシコロジスト認定試験 .....	No. 3	41
第 25 回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者 .....	No. 1	9
第 26 回日本毒性学会認定トキシコロジスト新規認定者 .....	No. 6	119
2023 年度一般社団法人日本毒性学会 評議員会・社員総会報告 .....	No. 5	66
2023 年度年会費の納入のお願い .....	No. 2	16 / No. 3 37
2024 年度日本毒性学会 特別賞候補者推薦要領 .....	No. 4	56 / No. 5 102 / No. 6 126
2024 年度日本毒性学会 学会賞候補者推薦要領 .....	No. 4	55 / No. 5 103 / No. 6 127
2024 年度日本毒性学会 佐藤哲男賞 (国際貢献賞) 候補者推薦要領 .....	No. 4	57 / No. 5 104 / No. 6 128
2024 年度日本毒性学会 学会貢献賞候補者推薦要領 .....	No. 4	58 / No. 5 105 / No. 6 129
2024 年度日本毒性学会 奨励賞候補者推薦要領 .....	No. 4	59 / No. 5 106 / No. 6 130
2022 年～2024 年日本毒性学会理事監事および各種委員会委員長について .....	No. 5	65
2023 年度学会表彰受賞者のあいさつ .....	No. 5	87
2023 年度特別賞・学会賞・佐藤哲男賞 (国際貢献賞)・学会貢献賞・奨励賞・技術賞受賞者一覧 .....	No. 5	68
2024 年度の役員改選について .....	No. 6	115
Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告①—Continuing Education Courses に参加して— .....	No. 4	61
Society of Toxicology (SOT) 学術年会派遣報告②—国際的な IVIVE モデル研究について学ぶ— .....	No. 4	62
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 1 報) .....	No. 1	7
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 2 報) .....	No. 2	23
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 3 報) .....	No. 3	38
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 4 報) .....	No. 4	52
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 5 報) .....	No. 5	107
日本毒性学会教育委員会からのお知らせ (第 6 報) .....	No. 6	117
オピニオン 高岡滋氏の著書に対する反論 - 水俣病の病理学的研究に携わったものとして - .....	No. 5	110
五十年の重み, そしてこれから .....	No. 4	49
公告: 理事・監事候補者の選挙について .....	No. 6	116
社員総会開催のご案内と出欠票 (委任状) 提出のお願い .....	No. 1	11 / No. 2 15 / No. 3 36
菅野盛夫先生追悼文 .....	No. 2	13
日本毒科学会設立当時を顧みて .....	No. 3	34
日本毒科学会誕生の経緯について .....	No. 3	28
日本毒性学会設立に関する記事の再掲載に当たって .....	No. 3	27
米国毒性学会 (SOT) 教育コースへの派遣者公募 .....	No. 5	108
「特別賞を受賞して」萩原 正敏 .....	No. 5	87
「学会賞を受賞して」小椋 康光 .....	No. 5	88
「佐藤哲男賞 (国際貢献賞) を受賞して」菅野 純 .....	No. 5	89
「学会貢献賞を受賞して」鈴木 睦 .....	No. 5	90
「奨励賞を受賞して」岩田 良香 .....	No. 5	91
「技術賞を受賞して」石橋 勇人 .....	No. 5	91
「技術賞を受賞して」大竹 利幸 .....	No. 5	92
「技術賞を受賞して」依田 智美 .....	No. 5	92
「田邊賞を受賞して」山田 隆志 .....	No. 5	93
「田邊賞を受賞して」中村 和希 .....	No. 5	93
「田邊賞を受賞して」張 綺悦 .....	No. 5	94
「田邊賞を受賞して」依田 智美 .....	No. 5	94
「ファイザー賞を受賞して」太田 久吉 .....	No. 5	95
「ファイザー賞を受賞して」相川 信夫 .....	No. 5	95
「ファイザー賞を受賞して」竹田 修三 .....	No. 5	96

### その他のお知らせ

シンポジウム「モレキュラーキラリティー 2023」 .....	No. 2	26
フォーラム 2023 衛生薬学: 環境トキシコロジー .....	No. 3	48 / No. 4 63
第 30 回日本免疫毒性学会学術年会 .....	No. 3	48
日本安全性薬理研究会 第 15 回学術年会のご案内 .....	No. 5	114 / No. 6 131

## 一般社団法人日本毒性学会の定款および規程類について

日本毒性学会の定款および規程類については、最新版が学会ホームページ ([http://www.jsot.jp/about/rule\\_list.html](http://www.jsot.jp/about/rule_list.html)) に掲載されています。

2022年9月2日付で「研究倫理要綱」と「研究倫理問題に関する規程」が新たに制定されました。学会ホームページでご確認をお願いします。

### 一般社団法人日本毒性学会 定款

- 一般社団法人日本毒性学会 研究倫理要綱
- 一般社団法人日本毒性学会 研究倫理問題に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 動物実験に関する指針
- 一般社団法人日本毒性学会 入会規程
- 一般社団法人日本毒性学会 賛助会員に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉会員・功労会員推薦規程
- 一般社団法人日本毒性学会 評議員選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事・監事選出規程
- 一般社団法人日本毒性学会 理事および監事候補の選出に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 常置委員会共通規程
- 一般社団法人日本毒性学会 部会に関する規程
- J. Toxicol. Sci. 投稿規程
- Fundam. Toxicol. Sci. 投稿規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 特別賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 佐藤哲男賞（国際貢献賞）選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 学会貢献賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 奨励賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 技術賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 田邊賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 ファイザー賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 日化協 LRI 賞選考規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの認定制度規程
- 一般社団法人日本毒性学会 認定トキシコロジストの資格更新に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 名誉トキシコロジスト表彰に関する細則
- 一般社団法人日本毒性学会 米国毒性学会教育コースへの学会員派遣に関する規程
- 一般社団法人日本毒性学会 個人情報の適正な管理・利用等に関する基本方針



高い再現性と信頼性で短期発がん性試験を実現したモデルマウス

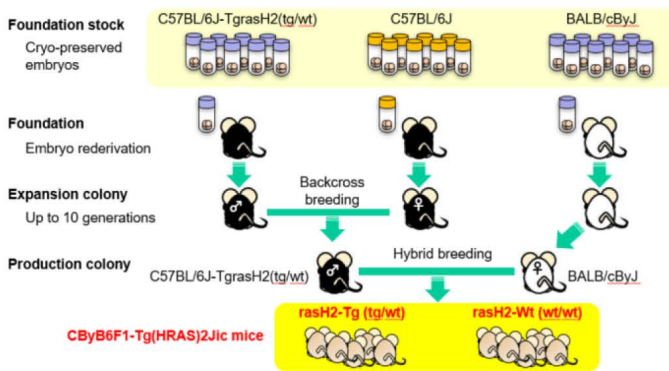
# rasH2マウス



rasH2マウスは（公財）実験動物中央研究所（実中研）、東海大学医学部、国立がんセンター研究所（当時）との共同研究により開発されました（Saitoh A. et al., Oncogene. 1990）。その後1993年に実中研で発がん性評価試験の実用化を開始、1997年から2001年の5年間における日米欧の産官学50施設の国際共同研究 (ILSI/HESI)によってrasH2マウスの高いがん性評価の再現性、安定性が証明されました。当社では、2001年より本格的生産・供給をしております。2022年現在、遺伝子改変マウスによる短期発がん性試験のスタンダードモデルとして認知され、世界各国で利用頂いております。

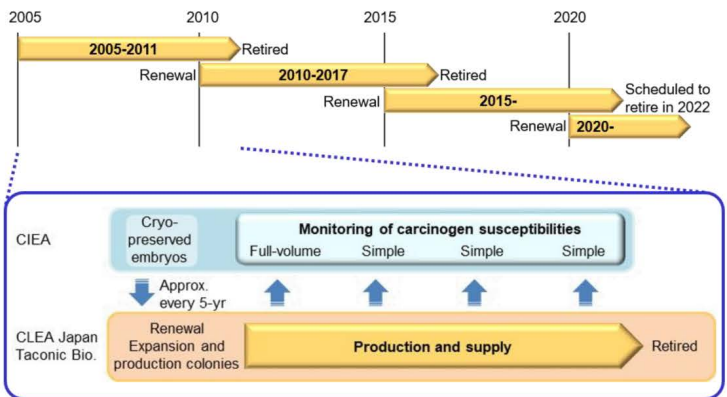
## rasH2マウス: 生産システム

◆ rasH2マウスの“発がん感受性”の永続的・安定的な維持と安定供給のためにデザインされた生産システム



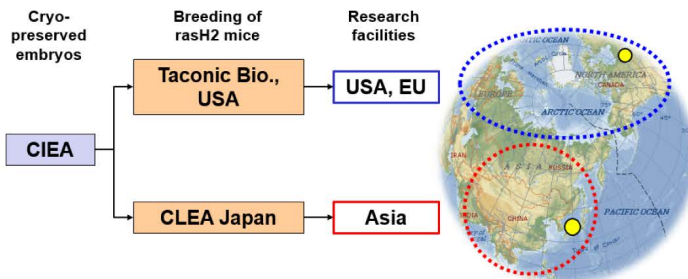
## rasH2マウス: 品質管理システム

◆ rasH2マウスの“発がん感受性”を確認・保証するためにデザインされた品質管理システム

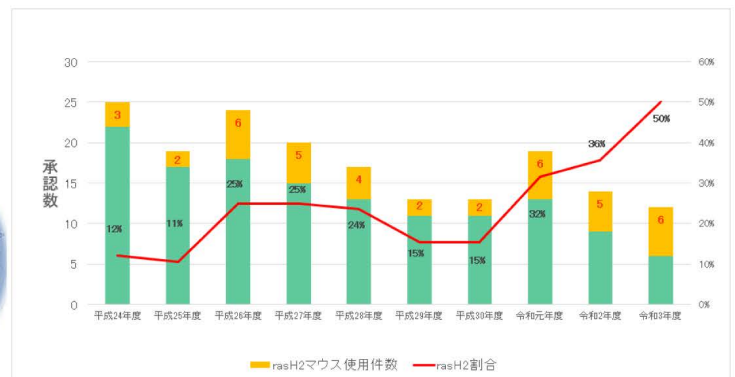


## rasH2マウス: グローバルな安定供給体制

◆ 日本クレア、Taconic Biosciencesにて、定められ生産システムに基づきrasH2マウスを生産し、世界各国に供給しています



## 発がん性試験が実施された医薬品の承認状況



図：日本国内の過去10年間の発がん性試験推移 (PMDAのHPより独自調査)

受注センター  
 東京 A D 部 〒153-8533 東京都目黒区東山 1 - 2 - 7  
 大阪 A D 部 〒153-8533 東京都目黒区東山 1 - 2 - 7  
 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 6 - 5  
 仙台出張所 〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂1-30-24  
 札幌出張所 〒063-0849 北海道札幌市西区八軒9条西10-4-28  
 名古屋出張所 〒465-0093 愛知県名古屋市名東区一社3-79

TEL 03-5704-7123 FAX 03-3792-2368  
 TEL 03-5704-7050 FAX 03-3792-2032  
 TEL 06-4861-7101 FAX 06-4861-7108  
 TEL 022-352-4417 FAX 022-352-4419  
 TEL 011-631-2725 FAX 011-644-9209  
 TEL 052-715-7580 FAX 052-715-7590



日本クレア株式会社

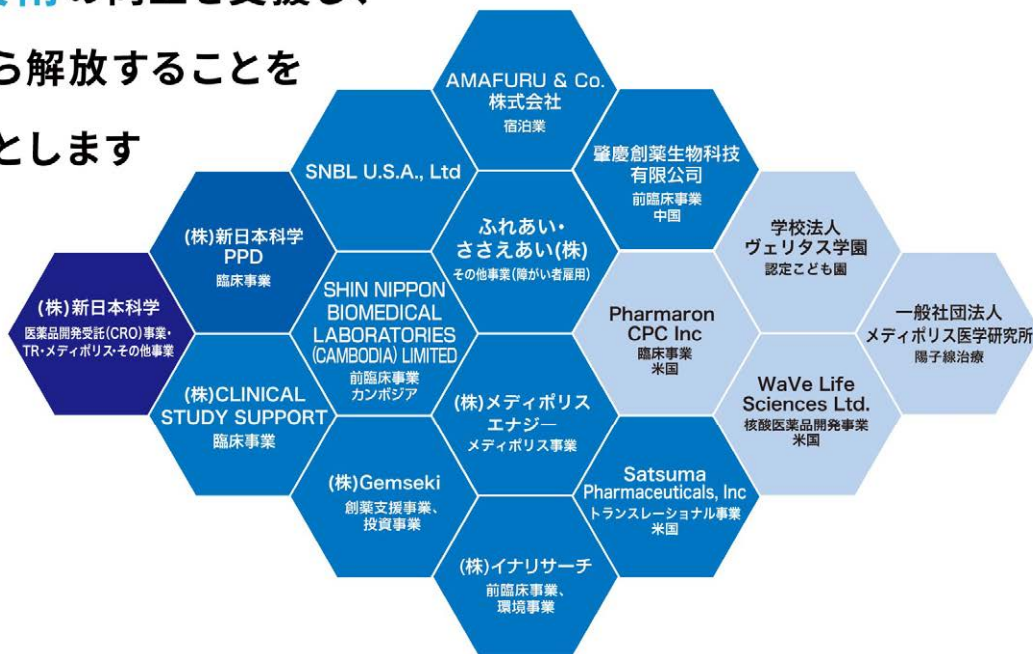
<http://www.CLEA-Japan.com>

# Shin Nippon Biomedical Laboratories, Ltd.

創薬と医療技術の向上を支援し、

人類を苦痛から解放することを

絶対的な使命とします



(株)新日本科学は60年以上にわたる

豊富な経験と実績に裏付けされた確かな技術力により

質の高いサービスとニーズに合わせたソリューションを提供します



株式会社新日本科学

<https://www.snbl.co.jp> mail: [info@snbl.com](mailto:info@snbl.com)



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 新薬の研究開発に 寄り添う技術力

実験には、様々なノウハウと  
手技が求められます。

私たちは、「研究する心・想像する心」で  
日々研鑽し、新しい技術の開発に  
取り組んでいます。

明日の医療の発展を願って…

医薬品・医療機器・再生医療等製品の開発支援  
各種GLP適合・AAALAC International 完全認証施設

・安全性試験・薬効試験・各種検査  
・臨床試験・翻訳サービス・SENDサービス



株式会社新日本科学グループ  
**Ina Research Inc.**  
<https://www.ina-research.co.jp>



# 新製品のご案内

新しい肝細胞製品の取り扱いを開始いたします

# HepaSH™



a standardized research tool for liver biology and drug discovery



SINCE 1952



CIEA's hu-liver technology

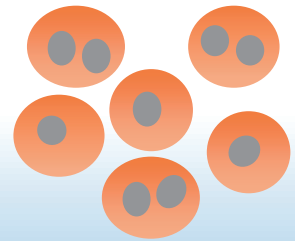
Reconstitution of hu-liver



Standardization of hepatocytes by homogeneous environment

Isolation

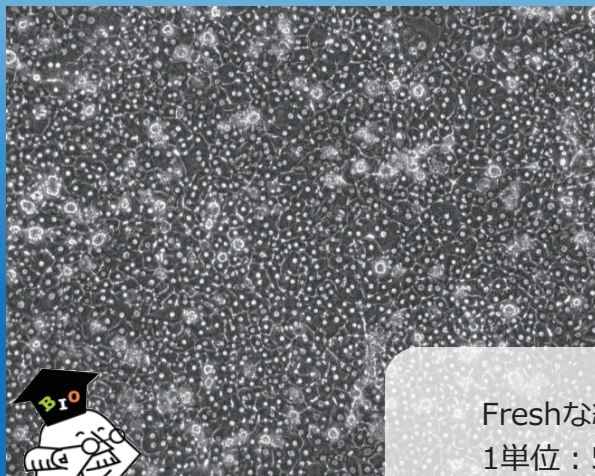
• H • E • P • A • S • H



HepaSH cells  
HLA<sup>+</sup>>95%

HepaSH™とは、

TK-NOGマウスの体内で再構築させたヒト化肝臓から単離調製した新しい肝細胞です



- ✓ The experimental human hepatocytes(EHH) produced by advanced technologies of CIEA.
- ✓ HepaSH™ cells demonstrate the standardized physiology of human hepatocytes.
- ✓ Ready-to-go plate (classic 2D, sandwich, 3D, MPS etc)

Freshな細胞をサスペンション状態でお届けいたします。  
1単位：5×10<sup>6</sup> viable cells /mL です。



お問い合わせ先

▶ 試薬営業グループ

TEL:03-5807-7162 FAX:03-5807-7163

e-mail: shiyaku-info@kacnet.co.jp



<https://www.saibou.jp/>



弊社取り扱い製品情報を掲載しております

# 一般社団法人 日本毒性学会

## [名誉会員 (就任年度順)]

今道 友則	堀口 俊一	福田 英臣	池田 正之
加藤 隆一	井村 伸正	佐藤 哲男	渡辺 民朗
榎本 眞	小野寺 威	遠藤 仁	鎌滝 哲也
赤堀 文昭	土井 邦雄	長尾 拓	福高 昭治
津田 修治	吉田 武美	堀井 郁夫	大野 泰雄
上野 光一	山添 康	永沼 章	

## [功労会員 (就任年度順)]

高仲 正	前川 昭彦	佐藤 温重	安田 峯生
大沢 基保	今井 清	降矢 勝	玄番 宗一
唐木 英明	仮家 公夫	暮部 強	野村 護
牧 栄二	三森 国敏	佐神 文郎	遠山 千春
小野寺博志	杉本 哲朗	西田 信之	中村 和市
姫野誠一郎	眞鍋 淳	安仁屋洋子	横井 毅
久田 茂	青木 豊彦	山田 久陽	

## [賛助会員 (五十音順)]

### ●ダイヤモンド

株新日本科学

### ●プラチナ

第一三共 (株)

Charles River

### ●ゴールド

旭化成ファーマ (株)

あすか製薬 (株)

アステラス製薬 (株)

(株)安評センター

EA ファーマ (株)

(株)イナリサーチ

エーザイ (株)

(株)LSIM 安全科学研究所

大塚製薬 (株)

小野薬品工業 (株)

花王 (株)

一般財団法人化学物質評価研究機構

科研製薬 (株)

杏林製薬 (株)

協和キリン (株)

興和 (株)

三栄源エフ・エフ・アイ (株)

サントリーホールディングス (株)

(株)三和化学研究所

塩野義製薬 (株)

(株)資生堂

シミックファーマサイエンス (株)

住友ファーマ (株)

住友化学 (株)

(一財) 生物科学安全研究所

ゼリア新薬工業 (株)

千寿製薬 (株)

大正製薬 (株)

大鵬薬品工業 (株)

武田薬品工業 (株)

田辺三菱製薬 (株)

中外製薬 (株)

帝人ファーマ (株)

トーアエイヨー (株)

東レ (株)

(一社) 日本化学工業協会

日本香料工業会

日本新薬 (株)

ファイザー (株)

富士フイルム (株)

扶桑薬品工業 (株)

(株)ボゾリサーチセンター

Meiji Seika ファルマ (株)

持田製薬 (株)

(株)薬物安全性試験センター

ライオン (株)

## [役員] (2022 ~ 2023 年度)

理事長	務台 衛		
理事	朝倉 省二	安西 尚彦	上原 孝
	小椋 康光	鍛冶 利幸	菅野 純
	古武弥一郎	児玉 晃孝	佐藤 雅彦
	渋谷 淳	高橋 祐次	奈良岡 準
	広瀬 明彦	黄 基旭	福島 民雄
	宮内 慎	宮脇 出	森 和彦
	山本 千夏		
監事	天野 幸紀	三浦 伸彦	

## [学術年会長]

第50回 (2023年) 北嶋 聡  
 第51回 (2024年) 上原 孝  
 第52回 (2025年) 黄 基旭  
 第53回 (2026年) 宮脇 出

## [委員会] (2022 ~ 2023 年度)

●印: 常置委員会 ◆印: 小委員会

● 理事長 務台 衛

● 総務委員会 委員長 小椋 康光  
 ◆ 連携小委員会 委員長 上原 孝  
 ◆ 評議員選考小委員会 委員長 佐藤 雅彦  
 ◆ 名誉会員および功労会員選考委員会 委員長 小椋 康光  
 ◆ 指針値検討小委員会 委員長 広瀬 明彦  
 ◆ 企画戦略小委員会 委員長 宮脇 出

● 財務委員会 委員長 森 和彦

● 編集委員会 委員長 鍛冶 利幸  
 副委員長 古武弥一郎  
 副委員長 藤原 泰之  
 ◆ JTS 編集委員会 委員長 鍛冶 利幸  
 副委員長 古武弥一郎  
 副委員長 藤原 泰之

◆ FTS 編集委員会 委員長 永沼 章  
 ◆ Executive Editor 小委員会 委員長 永沼 章  
 ◆ 田邊賞選考小委員会 委員長 宮脇 出  
 毒性学ニュース機能強化 WG WG 長 古武弥一郎

● 教育委員会 委員長 高橋 祐次  
 (小委員長・委員は10月末で交代)  
 ◆ 生涯教育小委員会 委員長 黄 基旭  
 ◆ 基礎講習会小委員会 委員長 橋本 清弘  
 ◆ 認定試験小委員会 委員長 福島 民雄  
 トキシコロジー 4ed. 編集 WG WG 長 鈴木 睦

● 学術広報委員会 委員長 児玉 晃孝  
 ◆ 学会賞等選考小委員会 委員長 上野 光一  
 ◆ 佐藤哲男賞・学会貢献選考小委員会 委員長 姫野誠一郎  
 ◆ 特別賞等選考小委員会 委員長 上野 光一  
 ◆ 技術賞選考小委員会 委員長 三島 雅之  
 ◆ 日化協 LRI 賞選考小委員会 委員長 渋谷 淳  
 ◆ 学術小委員会 委員長 吉成 浩一  
 ◆ 広報小委員会・HP 担当 委員長 児玉 晃孝  
 副委員長 宮内 慎  
 ◆ トピックス小委員会 委員長 中西 剛

### その他関連の委員会

○ IUTOX 担当  
 Executive Committee, Director 広瀬 明彦  
 ○ ASIATOX 担当  
 ASIATOX Councilor 田口 恵子  
 ○ SOT 担当 熊谷 嘉人  
 ○ 日本学術会議担当 委員 石塚真由美

### 部 会

○ 生体金属部会 部会長 佐藤 雅彦  
 ○ 医薬品毒性機序部会 部会長 北嶋 聡  
 ○ 付加体科学部会 部会長 上原 孝

2023年12月1日 印刷

2023年12月1日 発行

発行人 務台 衛

編集人 鍛冶 利 幸

発行所 一般社団法人日本毒性学会

学会事務局 〒100-000 3東京都千代田区一ツ橋 1-1-1

パレスサイドビル

(株)毎日学術フォーラム

一般社団法人日本毒性学会事務局

TEL (03) 6267-4550 FAX (03) 6267-4555

E-mail : jsotq@jsot.jp

振替 00150-9-426831

<http://www.jsot.jp>

印刷所 株式会社 センキョウ

〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町二丁目4-2

TEL (022) 236-7161